



議会だより

第46号

水・緑・歴史が薫る文化創造都市

木津川市議会



力を結集して 木津第二中学校 体育大会

- | | | |
|---------------|------------------|-------|
| 議員定数削減は継続審査 |本会議・請願..... | 2~4 |
| 経常収支比率2ポイント改善 |決算委員会..... | 6~7 |
| ごみ袋有料化で基金創設 |常任委員会..... | 8~10 |
| 議員定数削減を求める請願書 |特別委員会 .. | 11~12 |
| 17人が市政を問う |一般質問 .. | 15~23 |

市民と議会のつどい
11月10日(土)
(詳しくは25ページをご覧ください。)

議員定数の削減について
公聴会を開催します
11月25日(日)
(詳しくは13ページをご覧ください。)

は継続審査

9月定例会は、8月30日から9月27日まで、29日間の会期で開催した。議案16件、同意2件、認定10件、承認1件、請願1件、議員提案1件を審議し、請願、議員提案を除き、可決・同意・認定・承認した。

29年度 一般会計決算

ア・北陸新幹線には熱心
不公正な同和行政が残る

贊成討論

クリーンセンター整備
や教育施設等の充実、道

移動図書館の廃止

高齢者への思いが抜け落ちている。読書を推進すべき教育行政が、読書を

反對討論

29年度決算の收支は、
3億4974万円の黒字。
30年度の繰り越しを差し
引いた実質収支は、2億
5477万円の黒字。

反対討論

賛成多數で認定

伊藤紀味枝

Q 図書館協議会での協

賛成多數で可決

議員定数条例の改正

化により新規購入が必要。木津エリアだけの運行になつており、加茂・山城地域この辺を主に回れど

卷之三

谷川 光男・島野 均
賛成者

Q 津南地区の新築家屋の増加で固定資産税が增收。納税義務者が増えているが、納税額が伸び悩んでいる要因は。

A 若い世代の転入者が増加している。さまざまな控除があり、納税額が思うほど伸びていない。

やした決算に反対。
西山幸千子

Q なぜ、廃止検討時に
市民参画を求めなかつた
のか。

議員定数を22人から20人に改正するもの。

反對討論

家計消費はマイナスで暮らしは大変なのに、有効な施策を行わなかつたけいはんな新線やり二



新築家屋が増加する城山台地区

反對討論

利用者である子どもや

することに決定

A 非常に難しい問題であり、市民の代表である議会での審議を重視した

質疑終了後、議員定数及び議員報酬検討特別委員会に付託し、選続審査

木津川市議会だより 46号 ● 2

議員定数削減



拠点収集場所でのごみ回収(兜台)

循環型社会推進基金 条例の制定

修正案を提出

宮嶋・森岡から条文の

第1条「：を進め、次世

代に豊かな自然環境を繼承する」を削る修正案が

ごみ袋有料化にかかる手数料の収益と使途の透明性確保のため基金を創設。

出された。修正案賛成討論が

・再資源化施策の貴重な財源であり、基金設置は、使途の透明化を図る上で適切な措置である。

谷口 雄一

育全体の質を落とす恐れがあり、条例改正に反対。

森岡 譲

受給者は10年で200人増えたが、事業費は毎時から1387万円減少。所得基準を超える障害者を排除する必要はない。市独自施策を守れ。

宮嶋 良造

修正案賛成討論

修正案は賛成少数で否決
(賛成5人・反対15人)

保育所の民営化は、特色ある運営ができる、保育ニーズに対応したサービスの向上が図れる。何より子どもが健やかに育つ環境の充実ができる。

障害者の方々が、社会の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

長岡 一夫

ごみ袋の有料化には反対の立場であるが、自然環境へ配慮することに異存はない。表現が漠然として、使途を明らかにするための修正案に賛成。

西山幸千子

保育所条例の改正 財産の無償譲渡

原案は全員賛成で可決

保育所の民営化は、特色ある運営ができる、保育ニーズに対応したサービスの向上が図れる。何より子どもが健やかに育つ環境の充実ができる。

障害者の方々が、社会の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

高岡 伸行

賛成多数で可決
(賛成15人・反対5人)

の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

長岡 一夫

福祉医療費の 市の上乗せ廃止

障害者の方々が、社会の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

高岡 伸行

昨年度、梅美台保育園を完全民営化し、「公立保育所民営化等実施計画」を策定した。

来年4月1日に兜台保育園も完全民営化する。

民営化にあわせ、建物と遊具、その他の備品は、愛光福祉会へ無償譲渡する。なお、土地は10年間無償貸与する。

級、療育手帳A。また3級かつ療育手帳B判定を受けている者のうち、府の所得基準を超える者にもこれまで市独自の上乗せ給付を行ってきた。

身体障害者手帳1・2級、療育手帳A。また3級かつ療育手帳B判定を受けている者のうち、府の所得基準を超える者にもこれまで市独自の上乗せ給付を行ってきた。

障害者の方々が、社会の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

高岡 伸行

賛成多数で可決
(賛成15人・反対5人)

の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

高岡 伸行

人事案件

財産区管理会

管理委員決まる

旧北村旧兎並村旧里村
勝田 信三
若本 達也

反対討論

市の市立保育園のほとんどを統廃合や民営化しようとしている。

公的保育の後退は、保

措置を廃止する。対象者は約40人。

の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

高岡 伸行

賛成多数で可決
(賛成15人・反対5人)

の一員として立派に役割を果たされて、所得のある方々については、社会の一員として認めるべきである。

高岡 伸行

後期高齢者医療決算

要支援・要介護1の方が少なくなっている。

反対討論

収入8億2121万円、支出8億1240万円、収支は881万円の黒字。

保険料の特例軽減が廃止され、被保険者の保険料が増えた。2年ごとに保険料が値上げされ、75歳の年齢で差別する医療制度に反対。

問介護と通所介護の地域支援事業に移行。弱者を排除する制度に反対。

森岡 譲

保険料が値上げされ、75歳の年齢で差別する医療制度に反対。

問介護と通所介護の地域支援事業に移行。弱者を排除する制度に反対。

森岡 譲

賛成多数で認定
(賛成15人・反対5人)

賛成多数で認定
(賛成15人・反対5人)

介護保険決算

収入4億2442万円、支出4億7824万円、収支は2億4618万円の黒字。

全ての会計の実質収支は黒字であるが、一般会計の実質単年度収支は、昨年に引き続き赤字である。市債残高も大型公共事業の進捗に伴い、年々増加している。

職員は、常に経費削減を意識し、市民サービスが低下しないよう持続可能な行政運営に努められ

A 在宅サービスの利用状況は。

割合が増えている。介護認定者は増えているが、

在宅サービスの利用状況は。

職員は、常に経費削減を意識し、市民サービスが低下しないよう持続可能な行政運営に努められ

特別会計等決算状況

(万円未満の金額は切り捨て)

特別会計	収入額	支出額
国民健康保険	82億2822万円	78億9683万円
後期高齢者医療	8億2121万円	8億1240万円
介護保険	46億2442万円	43億7824万円
4財産区	1626万円	1475万円

公営企業会計		収入額	支出額
水道事業	収益的収支	17億3618万円	16億9565万円
	資本的収支	17億6914万円	20億9280万円
公共下水道事業	収益的収支	23億4923万円	23億3595万円
	資本的収支	5億3988万円	10億7628万円

一般会計における主要財政指標

区分	29年度	28年度	数値の説明
財政力指数(3カ年平均)	0.654	0.655	指標が1に近いほど財源に余裕がある
経常収支比率	95.8%	97.8%	財政構造の弾力性を判断する指標 高いほど財政の硬直化を示す
実質公債費比率(3カ年平均)	10.3%	11.0%	市の収入に対する実質的な借金の比率

<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

議会中継 スマホに対応



インターネットで市議会の生中継や録画配信がご覧いただけます。

木津川市議会

検索

請願内容
①議会議員の定数2名以上削減。
②議会の活動が、より見えるように取り組みを。

継続審査

谷川 光男・谷口 雄一
福澤 修一
請願者
請願書

請願

府内他の市と比べて、最も低い状況にあるが、本市の財政状況を鑑み、今後の議論に期待する。

同規模の近隣自治体と比較し、本市より少ない定数で運営されている状況があるので、行政だけではなく、議員も2名以上減らす改革が必要。

なお、報酬についても府内の他市と比べて、最も低い状況にあるが、本市の財政状況を鑑み、今後の議論に期待する。

議員の定数削減を求める請願書

請
願

支所の事務事業を見直しへ

補正予算特別委員会

9月7日に委員会を開会。一般会計予算を1億2422万円増額し、
2085億4508万円とするもの。全員賛成で可決。

主な質疑

両支所が機械警備に

Q 加茂・山城両支所の宿直が10月から廃止され、機械警備となる。特に加茂支所は複合施設だが、使い方など関係機関と話し合いはできているのか。

A 広報掲載や、チラシを配布している。また、関係者と協議し、理解を得ていると認識している。

ふるさと納税

Q ①民間に委託する内容は。②今後の展開は。③人気の高い記念品は。

A ①記念品の集配と発送を民間委託にする。職員は企画とPR。②市の特

Q 加茂支所の雨漏り修繕

A 雨漏りは、5年前か

Q 相楽小の校舎雨漏り修繕、木津川台小と南加茂台小の体育館の雨漏り修繕等。体育館の構造上

Q ごみ袋有料化財源活用として雑紙袋1千枚、獣害防止ネット200枚配布となっているが、少ないのではないか。また、他に施策は考へているのか。

A ごみ袋有料化前講座等で配布予定。今後は、アンケート調査をしたい。

Q 小学校施設管理事業費401万円の内容は。また、避難所としての体育馆に雨が入るのはどう

Q ごみ減量効果を促進

Q ごみ袋有料化財源活用として雑紙袋1千枚、獣害防止ネット200枚配布となっているが、少ないのではないか。また、他に施策は考へているのか。

A ごみ袋有料化前講座等で配布予定。今後は、アンケート調査をしたい。

Q 学校施設管理事業費

産物のPRと開拓。チラシを市内外で配布したい。
③1位ブルーベリー、2位特別牛乳、3位柿の詰め合わせ。

A 3年前にも側壁からの防水工事をした。今回は屋上全面の防水工事。

ゲリラ豪雨等で横から雨が入ることもある。構造は変えられない。

A 梅美台6丁目の居宅を改修。0歳から2歳までの5人の定員で、現在2人が入所。保育士は5人配置予定。

Q 家庭的保育事業者を7月に認可したが事業の内容は。



梅美台にできた「おうち保育室sora」

補正予算第3号の主な事業

循環型社会推進基金積立	2258万円新
児童生徒数増加対応備品購入	1000万円新
道路橋りょう災害復旧事業	3400万円増
ふるさと納税の促進(ポータルサイト加入充実等)	485万円増

委員長	柴田はすみ
副委員長	片岡
委員	谷口 雄一
委員	西山 幸千子
委員	山本 和延
委員	伊藤紀味枝
委員	炭本 範子
委員	谷川 光男
委員	酒井 弘一
委員	西山 幸千子
委員	山本 和延
委員	伊藤紀味枝
委員	炭本 範子
委員	谷川 光男
委員	酒井 弘一

2ポイント改善

決算特別委員会

議長と監査委員を除く20人で、9月19日、20日、21日の3日間、29年度一般会計歳入歳出決算の審査を行った。

決算収支は3億4974万円で、繰越金9497万円を引いた実質収支は2億5477万円の黒字となった。基金残高（貯金）は113億9062万円で、地方債（借金）と債務負担行為の残高は361億8854万円（前年度比42億3217万円減）となつた。

経常収支比率は95・8%（前年比2ポイント減）となり、微小ながら財政状況が改善となつた。

主な質疑

（市長室・総務部等）

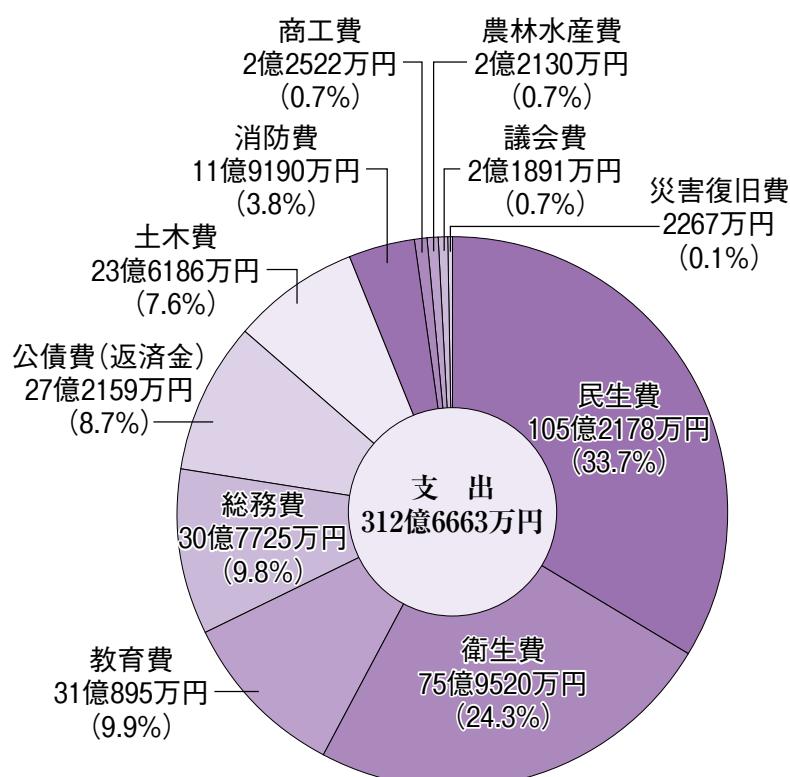
ふるさと納税の活用

Q ふるさと納税の基金の使い道は。

A 29年度は、上人ヶ平遺跡公園の解説板と椿井大塚山古墳の案内板に130万円、特色ある学校づくり推進事業に50万円。



ふるさと応援基金で更新した上人ヶ平遺跡公園の解説板



主な事業の決算額 (29年度一般会計)

- ・クリーンセンター整備 48億5792万円
 - ・城山台小学校校舎取得 3億5935万円
 - ・放課後児童クラブ施設整備(棚倉・城山台) 1億4961万円
 - ・中央体育館屋根等改修 1億5914万円
 - ・城山台地域集会所建設 1億1602万円
 - ・JR奈良線高速化・複線化負担金 1億1299万円
 - ・広域道路網の整備(東中央線と関連道路整備) 2億2941万円
 - ・幼小中普通教室空調設備整備手法の検討 653万円
 - ・内水対策(排水ポンプユニットの追加購入等) 1354万円
- (万円未満の金額は切り捨て)

29年度決算

経常収支比率

交通安全施設整備の進捗

Q カーブミラー、区画線等の工事件数と修繕件数は。また「ゾーン30」の未施工箇所はあるのか。
A カーブミラーの新設12件、修繕22件。「ゾーン30」における路面標示（兜台）に120万円。現在までに4件実施。他に要望箇所はない。

(市民部・健康福祉部)

子育て支援の充実

Q 子育て医療助成費の負担割合がこの2、3年府28%、市72%になつているが見直しの状況は。また、この制度実施により、国保の国庫負担金が減額されているが、今後の見通しは。
A 府の制度に市が上乗せして実施。現在、府で検討中。30年度から未就学児に対するの減額措置は廃止された。

薬師橋の工事内容

(建設部・教育部等)

薬師橋の工事の概要と目的は。

加茂町山ノ上にあり、

が提案。

①職員の健康管理に関わること。②小谷駐車場

再度、2案の自由討議

少数で否決。ザーの派遣を提案したこ

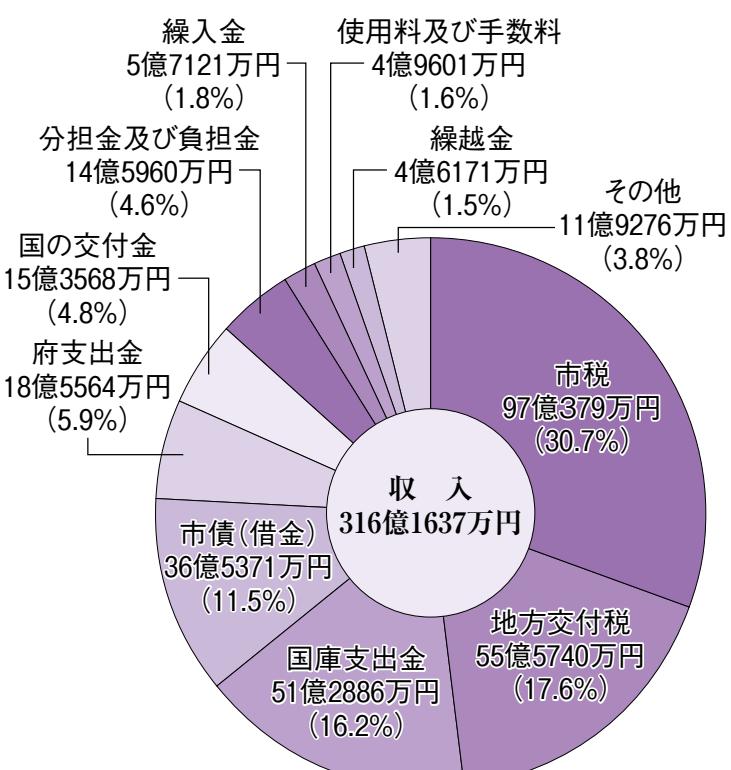
ラン①2教室を増設②家

庭訪問を実施③アドバイ

ごみ拠点収集に補助を



歩行者の安全確保のための「ゾーン30」



● 厳しい財政の中、多数の事業実施を評価。

賛成討論

● 職員の減により残業増。
健康管理に問題。
基金が潤沢にあり、市长判断は誤り。

反対討論

管理委託料と駐車料金の収支のバランス問題など。

自由討議

研修報告

厚生委員会

官民学で 積極的に連携

8月7日、愛知県豊明市で「地域包括ケア」を研修。



「ふじたまちかど保健室」豊明市



30年7月豪雨による被害状況
(梅谷)

市民の協力で ごみ減量

8月8日、岐阜県多治見市で「環境型社会システム構想」を研修。

今後急増する高齢者、中でも要支援者、要介護者が増えていくが十分対応できるのかの課題に、在宅サービスの利用が少ない一方、要介護度が異

る。徹底して地域資源を生かし、市民が住み続けられる環境をつくる姿勢を学んだ。

教室を開設。運動室を開設し、市も運動

送迎バスの利用を市が市民に利用促進。大学、URの協力で「まちかど保健室」を開設し、市も運動

常に多く重度化する実態を前に、自立支援を目的とした事業を展開。

商店の宅配や、銭湯の

見市で「環境型社会システム構想」を研修。

18年前に23分類のごみ分別を始め、その5年後

に指定ごみ袋の料金を引き上げた。大10枚入り、中15枚入り、小25枚入り

がいずれも1セット51円。本市より少し高額。

市民1日1人当たりのごみ量は451gで本市

より少し多い。

23分別以後、市はごみ減量に本気だと市民が認識してくれたことが大きい。また市政の満足度調査でも「ごみ・リサイクル」が常に上位で、市民の積極的な協力がうかがえた。

全員賛成で認定

ラブホテル建築規制条例を改正

産業建設委員会

9月5日に委員会を開会し、認定2件、議案3件、報告3件を審査した。

全議案認定・可決

市のラブホテル建築規制条例の一部改正

Q 建物を建築した後に、ラブホテルに改築する場合などの市の対応は。

A 建築・修繕・模様替えを行う際、建築確認申請前に届け出る必要がある。その際には審議会へ諮問し、ストップをかけることとなる。

Q 水洗化率について前年度と同じ94%であるが、水洗化率を上げる手法は。

A 向上対策として、戸別訪問により接続をお願いしている。

29年度下水道決算

29年度水道決算

Q 債権対策は。

A 現在は、給水停止、督促状・催告書の発行で対応している。今後もクレジットカードによる収納、口座振替を勧め、未納防止に努める。

土地改良事業の実施

30年7月6日に発生した豪雨災害により、被害を受けた農地1件、道路2件について、復旧事業を実施するもの。

Q 全員賛成で可決

Q 全員賛成で可決

A **Q** 利用者数は。
29年度は624人。

A **Q** 利用者数は。
29年度は624人。

A **Q** 主な利用団体は。
児童クラブ（高の原
・梅美台・州見台・相楽
台・木津川台）、保育園
(木津・相楽)、小学校

A **Q** 小学校などの図書室
を活用し、一般開放など
工夫できないか。
研究していきたい。
大切である。

反対討論

A **Q** 貸し出し冊数は。
29年度は1万753
冊。

A **Q** 廃止理由は。
開始後、27年を超
ている。バスの老朽化に
より巡回事業のあり方を
見直した。

A **Q** 代替案も協議すべき
では。

A **Q** 30年度の車検時をめ
どに、限られた予算と人
員の中で市内の図書館サ
ービスの充実に取り組む。

A **Q** 定期運用を16カ月に
するなど、有利な利率で
預け入れ、運用したため。

A **Q** 9月30日から、奈良市
北部図書館の図書の貸し
出しがスタート。奈良市
中央図書館・西部図書館
の予約借り受けもできる。

「ふるさと創生事業」
により、平成3年に移動
図書館事業を開始。バス
の老朽化により、今年度
末で廃止。

A **Q** 廃止することで小学
生や保育園児への影響は
ないか。
A 団体利用には貸出し
要請があれば対応したい。

図書館条例の一部改正

(梅美台・州見台)。

移動図書館 「いずみ号」の 廃止

総務文教委員会

9月3日に委員会を開会し、
認定4件、議案1件、報告3件
を審査した。

全議案認定・可決



31年3月末で廃止となる「いずみ号」

4決算とも 全員賛成で認定

A **Q** 旧北村旧鬼並村旧里
村財産区の財政調整基金
利子が有利になつていて
理由は。

A **Q** 指定管理しているい
ずみホールの利用者減の
理由は。

A **Q** サークルの高齢化に
よるものと聞いている。

旧加茂町4財産区の決算

賛成多数で可決

○見直しの時期。限られ
た予算で、より効果的
な事業を進められたい。
○財政厳しい中、多くの
新規事業を控え、必要
な事業を優先すべき。
○城山台の土地の取得
目的は。

A **Q** 木津高校へのアクセ
ス道路として取得。30年
6月に買い戻した。

賛成討論

○バスの廃止後の代替案
はない。市民サービス
が後退していく。

奈良市北部図書館の利用

学研都市京都土地開発公 社事業決算

報告案件

9月13日に本格稼働

クリーンセンター建設特別委員会

9月6日に委員会を開会し、センターの取り組み状況について報告を受けた。



完成した環境の森センター・きづがわを視察

○ 主な経過	30年8月竣工
運営	9月13日より組合で管理
○ 事業費	
総事業費	約109億円
内訳	
造成費	約13億8千万円
施設整備	約89億6千万円
その他	約5億6千万円

主な質疑

- Q** 排ガス等の法令規制
値と管理目標値の関連は。
- A** 管理目標は、法令規
定数值を超えないことを
定めた数値。

- Q** 地震時に電源が切れ
ても施設は稼動するのか。
- A** 環境監視委員会の立
ち上げの予定と、学識経
験者の依頼は。
- Q** 毎日のごみ受け入れ
量の公表を。
- A** 組合において、ホー
ムページで公表の予定。

今回で特別委員会の調
査を終えるので、同委員
会が設置されてから供用
開始までの経過報告と審
査について、本会議で報
告することを確認して閉
会した。その後、現地で
最後の説明を受けた。



着工前
敷地南側から撮影
(28年5月)



2 ごみを一時的に貯めるごみピット
(地下部)の工事(28年8月)

クリーンセンター 完成までのあゆみ



クリーンセンター竣工(30年8月末)



3 ごみ収集車が出入りするプラットホーム
(地上部)の工事(29年3月)



4 進む地上部工事(29年7月)

議員定数削減を求める請願書を継続審査

議員定数及び議員報酬検討特別委員会

7月20日、8月21日、9月10日、9月27日に委員会を開会し、審査を行った。

7月20日

「総括的な議員定数の考え方」を議論

委員の主な意見

- 本市は人口が増加しており定数削減はすべきでない。
- 同人口規模の他市では定数20人でも中身のある議論が行われている。
- 削減することと無投票は別問題。市民が求めているのは議会改革。
- 前回の選挙は無投票であつた。市民からも削減すべきとの声も聞く。
- 現状維持の定数では、市民の目は厳しい。
- 議員は市民の代表者であり、削減すると役割りを果たせない。

8月21日

「議員報酬のあり方にについて」を議論

委員の主な意見

- 合併時に、報酬を府内の一一番低い市に合わせた。なり手不足の解消のために、もう少し報酬を上げては。
- 議員報酬だけで生活するのは厳しい。職員の平均給与くらいが必要。
- 他市の報酬の状況から引き上げてはと考えるが、職員給与をカットしており、今は市民の理解が得られない。報酬は生活給ではない。
- 定数は、現状のまま。職員給与をカットしたので、議員報酬も5万円カットすべき。

9月10日

「議員の定数削減を求める請願書」を審査

委員の主な意見

- 議員定数を2人削減し、その財源で報酬を引き上げてはどうか。
- 議員定数は他市と比べて20人に削減すべき。
- 議員報酬を引き上げても良いが財政状況から現状維持。
- 議員報酬を上げることは市民の理解が得られない。報酬、定数も現状のままで考える。
- A（紹介議員）定数には定義がない。
- 議会の機能を維持するため、他市との比較をし、運営に問題ないとの考えから、2人以上の削減が良いと考える。

**定数2人減の発議を
継続審査に**

審査の結果、本請願は
閉会中の継続審査と決定。

	人口 (H30.4.1現在)	議員定数	議員報酬	当初予算額 (平成30年度)	予算に対する 議会費の割合
木津川市	76,447人	22人	35万円	283億円	0.8%
福知山市	78,612人	24人	41万円	404億円	0.8%
長岡京市	81,073人	24人	45万円	272億円	1.1%
城陽市	76,825人	20人	44.5万円	352億円	0.7%
京田辺市	69,207人	20人	37.5万円	241億円	0.9%

議員定数の削減について 『公聴会』を開催します

意見を述べて
みませんか

日時

11月25日(日)

午前9時30分から

(午後からも実施される予定です)

場所

全員協議会室
(市役所5階)

議員定数及び議員報酬検討特別委員会では、「木津川市議会議員の定数を定める条例の一部改正について」の議案の審査にあたって、反対・賛成5人ずつの公聴会を開催します。

公聴会で意見を述べたい方（公述人）は、所定の申込書（ホームページ・議会事務局に備え付けてあります）に住所・氏名・年齢を明記し、意見を述べようとする理由および問題に対する賛否を記入のうえ、議会事務局まで持参または郵送してください。

提出期限 11月12日(月)午後5時まで(必着)

応募多数の場合は、特別委員会で選定の後、応募者に通知します。なお、公聴会は午前・午後とも行う予定ですが、どちらに来ていただかは、委員会で決定されますので、ご了承ください。

問い合わせは、議会事務局まで TEL 0774-75-1240

全員賛成で可決

賛成多数で認定
震災で被災した被保険者の減免延長の条例の一
部を改正。

全議案全員賛成で可決

賛成多数で認定

・市町村支出金。支出は
保険給付費等。

補正予算は打越台環境
センター撤去工事の調査
費として、30年度から31
年度で限度額6400万
円の債務負担行為を補正
をするもの。

賛成多数で認定

29年度一般会計決算は、
収入9億9842万円、
支出9億7554万円。
収入は分担金、国・府支
出金。支出は運営経費等。

29年度特別会計決算は、
収入3491億2401
万円、支出3383億6
13万円。収入は国・府
・市町村支出金。支出は
保険給付費等。

○木津川市および精華町
で一般廃棄物収集運搬
業務の許可及び更新の事
務を共同で処理。

○組合の名称「相楽郡西
部塵埃処理組合」から
「木津川市精華町環境
施設組合」に変更。

全員賛成で同意

監査委員に家城功氏
(与謝野町)を選任。

副広域連合長に奥田敏
晴氏(城陽市長)と、山
内修一氏(府副知事)を
選任。

8月24日、定例会開会。
同意2件、承認4件、認
定2件、議案2件を審議。
8月27日、第1回臨時
会開会。議案6件を審議。

8月4日、定例会開会。
議案2件、同意2件を審
議。

組合議会報告

8月4日、定例会開会。
議案2件、同意2件を審
議。

決算は黒字

東日本大震災の被災被保
険者に減免の延長
(後期高齢者医療広域連合)

組合の名称を「木津川市
精華町環境施設組合」に
(西部塵埃処理組合)

8月4日、定例会開会。
議案2件、同意2件を審
議。

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載
賛成=○ 反対=X 退席=△ 欠席=空白 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議案名(第3回定例会)										図書館条例の一部改正
		平成30年度一般会計補正予算第2号	平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定	決算の認定	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出	平成29年度介護保健特別会計歳入歳出決算の認定	福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	修正動議	循環型社会推進基本条例の制定	保育所条例の一部改正	財産の無償譲渡	
谷口 雄一	さくら	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
森本 隆	さくら	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
長岡 一夫	民主未来	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
河口 靖子	民主未来	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
炭本 範子	民主未来	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
西岡 政治	民主未来											
西山幸千子	共 産	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
森岡 譲	共 産	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
宮嶋 良造	共 産	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
酒井 弘一	共 産	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
森本 茂	木津川	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
片岡 廣	木津川	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
谷川 光男	木津川	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
島野 均	公 明	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
九社前聿朗	無 会 派	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
高味 孝之	議 長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
採決結果		承認	認定	認定	認定	可決	否決	可決	可決	可決	可決	可決

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団
木津川=木津川の会 公明=公明党 無会派=会派に属さない議員

一般質問

① 市は、これまで進めた公共施設の指定管理や民間委託、保育園の民営化など、行財政改革をどう評価するか。

② 今後10年～20年の間に日本の労働力人口の約49%の仕事がA-Iやロボットに変わると予測される。国は、地方自治体に業

務の効率化、職員の負担軽減としてA-Iを進めていく。市の業務もA-I導入を積極的に考え、調査すべきである。

③ 今後も、職員数の削減を進め、行政のスリム化が必要である。現在の状況は、以前との比較は。

④ 今後、さらなる経常経

自治体業務にA-I導入を 国の実証実験を活用し検証したい



さくら会
尾崎 權雄

な選択と評価している。

②A.I導入については、国の一実証実験を活用して検証したい。

尾崎 輝雄

さくら会



費の削減を目指す行政の姿が必要である。

⑤職員数を削減しても、目標の一つに掲げ、目標達成に取り組む。

社会保障サービス等を維持することが必要である。⑤全職員対象に研修を実施する。

職員が地方行政を学ぶ研修も必要である。

れ、行革における効果的正な事業運営を行わ

A 市長・政策監他 ①適



民営化される兜台保育園

一般質問

17人が市政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、説明や報告を求めたり、行政に方針を問うもの。

答弁者の肩書きは省略しています。

一般質問

後期高齢者の人間ドック助成廃止

財政支援を国に強く要望する



ティッシュ箱まで可燃ごみか(クリーンセンター見学パンフから)

29年度、國の人間ドックの費用助成に係る特別調整交付金が大きく減少した。今後の見通しと取り組みは。

A 市民部 後期高齢者の人間ドック助成を、3年で段階的に廃止する方針が国から示された。市は、制度に対する財

政支援を国に対し強く要望していく。

防災対策は万全か

Q ①防災ハザードマップの見直しは。②河川の拡幅をはじめとする「流す」は。③雨を調整池などに蓄える「ためる」

は。④被害を最小限に抑える「備える」は。⑤避難指示・避難勧告発令時に避難できる体制は。⑥休止された「加茂山の家」が避難所となっているのはなぜか。

A 総務部 ①府が変更作業を完了次第、ハザードマップを更新。②国



民主未来クラブ
長岡 一夫

・府に要望する。③計画はしていない。④国・府と協力して、一体的に取り組む。⑤地域ならびに自主防災組織と連携を図っていく。⑥施設の電気と水道のライフルラインが供給されているため、避難所として継続していく。

新冊子のごみ分別の間違いを正せ 間違いがないよう補足資料を準備



日本共産党
宮嶋 良造

Q 実態を調査し健康を守れ。
A 教育部 ①整備は先の計画。②養護教諭と相談する。

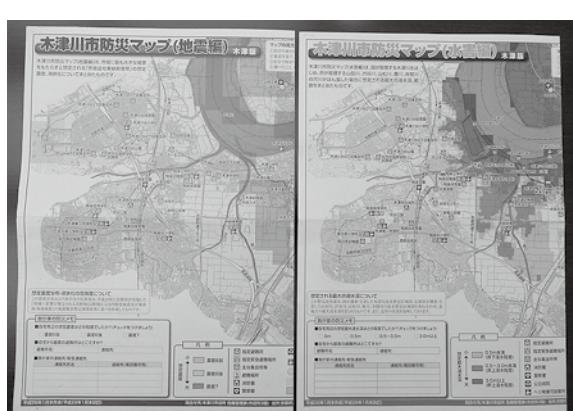
Q 市民にごみ有料を強いたながら、新しい冊子のごみ分別に間違いがある。可燃ごみとしての収集は「紙類」ではなく「紙くず」では。古着は可燃ごみか。誤りを正せ。ごみ有料は中止せよ。

Q ①高の原小の洋式トイレは18%。これでいいのか。②トイレを我慢している子どもたちの内看板は新しくせよ。

Q ①決算での監査委員の報告は。②地域循環型経済で財政を良くし市民生活を守れ。

A 総務部 ①昨年度は好転し、財政指標は良好な数値である。②地域外からお金を獲得し、地域内で循環させる。

Q 市の「西の玄関口」にふさわしく古い案内看板は新しくせよ。



見直しされるハザードマップ

一般質問

Q 頻発している大型台風等から問う。①小川流域は市の中心部を流れ、重要施設が多くある。排水ポンプの強化が必要では。②反田川伏越部のさらなるポンプアップの増量の考えは。③通学路にある危険な民間ブロック塀の対応は。

④ 通
口
台
風
等
か
ら
問
う。
① 小
川
流
域
は
市
の
中
心
部
を
流
れ、
重
要
施
設
が
多
く
あ
る。
排
水
ボ
ン
プ
の
強
化
が
必
要
で
は。
② 反
田
川
伏
越
部
の
さ
ら
な
る
ボ
ン
プ
ア
ッ
プ
の
增
量
の
考
え
は。
③ 通
学
路
に
あ
る
危
険
な
民
間
ブ
ロ
ク
塀
の
対
応
は。

④ 通
口
台
風
等
か
ら
問
う。
① 小
川
流
域
は
市
の
中
心
部
を
流
れ、
重
要
施
設
が
多
く
あ
る。
排
水
ボ
ン
プ
の
強
化
が
必
要
で
は。
② 反
田
川
伏
越
部
の
さ
ら
な
る
ボ
ン
プ
ア
ッ
プ
の
增
量
の
考
え
は。
③ 通
学
路
に
あ
る
危
険
な
民
間
ブ
ロ
ク
塀
の
対
応
は。

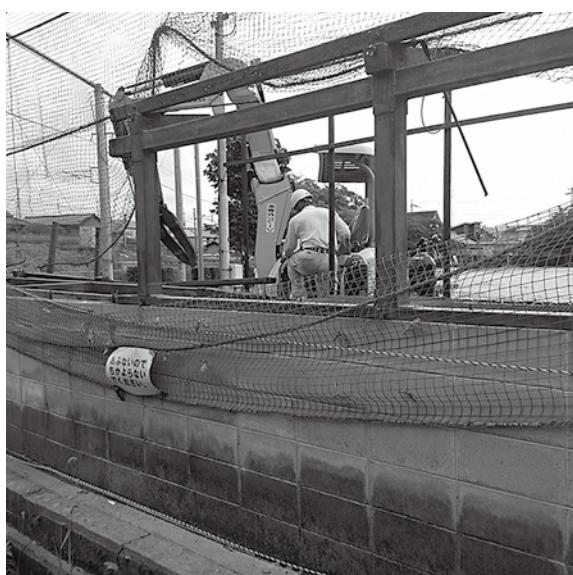
さまざまな手段を取り組むために

防災・減災に取り組むために



さくら会
伊藤紀味枝

中。⑤防災情報メールやFAX、市のHP等あらゆる手段を活用し情報伝達する。⑥災害時にその機能を十分に発揮できるよう、訓練や活動に係る費用の一部を助成金として交付。避難所の運営に取り組んでもらえるよう進めたい。



基準に適合したブロック塀に(木津小学校)

奈良市と木津川市との連携・協力に関する包括協定について

1 経緯

- 奈良市及び木津川市は、古より歴史的なつながりが深く、現代においても鉄道等により地域的に結びついています。
- 近年では、平成27年の両市連携による大仏鉄道のパンフレットの作成やウォーキングイベントの開催等、主に観光分野において協力関係を深めています。
- 他方、将来の新しい人口減少社会も見据え、公共施設・インフラについては効率化が求められており、将来にわたる持続可能なまちづくりは、両市共通の重要な課題です。
- こうした状況の中、幅広い分野に対する取組をより効果的に推進していくため、両市の連携・協力関係を深めていくことを目的として、包括協定を締結することとしたものです。

2 協定の目的

奈良市及び木津川市が、主に次の事項等について相互に連携・協力を進めることにより、必要な都市機能及び生活基盤の効率的な確保を図るとともに、連携による相乗効果を生みしで両市の更なる発展を目指します。

- 互いの持つ資源を生かした地域の活性化
- 教育や保育等の子育て面での連携
- 災害時の協力等による市民の安全、安心の確保
- 公共施設の効率的な利活用

3 主な連携・協力事項

- (1) 多様な資源の活用によるにぎわいのあるまちづくり
 - 鉄道、港湾を中心とした地域間の環境、交流、Etc.、幻の大仏鉄道等
 - 岡市の社寺等の地域資源を生かした観光の活性化
- (2) 対策などの強化による安全・安心のまちづくり
 - 既往した事件等の情報共有、対応の連携
 - 両組織の相互利用形態、災害時相互協力体制の構築

奈良市と木津川市との連携・協力に関する包括協定(30年1月締結)

奈良市との連携協定を推進せよ

あらゆる分野で取り組みを進める

Q ①具体的な連携・協力項目は。②共通のPRを作成するなど、一体性を醸成するためのPRが重要では。

A 政策監①大仏鉄道ウオークリングイベント、奈良市立北部図書館の共同利用、相楽中部消防組合に係る消防はしご

Q 今後の中長期的な見通しは。事業が進めていく。車の共同運用モデル事業等。②円滑な推進に向けて、検討を進める。

A 市長 両市長を構成員とする連携推進会議を設置した。観光を含めた幅広い関係の中で、経費の効率化につながる

避難所開設は万全に事業があれば進めていく。名簿登録・個別避難計画の策定を行っている。直近の対象者数は1873人(内、登録者101人・計画策定者477人)。今後も勧奨通知等を通じて、制度内容の周知に努める。

A 総務部・健康福祉部①防災訓練時に地域



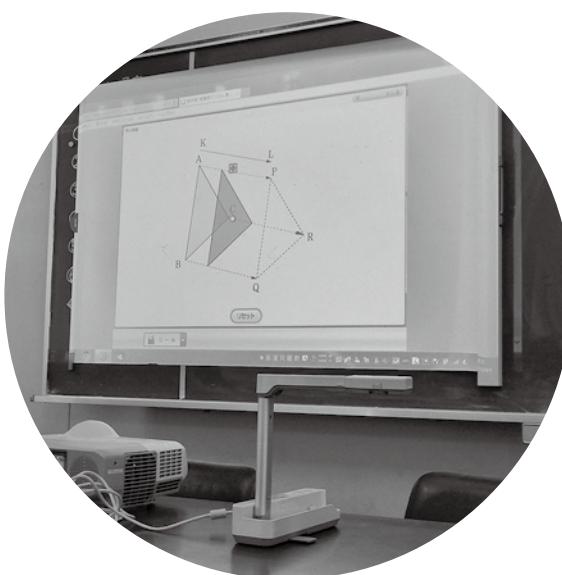
さくら会
谷口 雄一

住民や自主防災組織と協働して実施。防災研修に参加し、平時の備えの重要性について呼びかけている。②国の指針に則り、名簿登録・個別避難計画の策定を行っている。直近の対象者数は1873人(内、登録者101人・計画策定者477人)。今後も勧奨通知等を通じて、制度内容の周知に努める。

一般質問

葬儀生前契約事業を

実施する予定はない



デジタル教科書でわかりやすい授業を(木津第二中)

Q 2020年度から
の新学習指導要領改
訂では情報活用能力が必
須。教育の情報化を支え
る基盤整備が必要。取り
組みを問う。(1)情報活用
能力の育成は。(2)学校の
ICT環境整備は。(3)教
育情報セキュリティ確保
は。(4)新しい社会『SOC

A 報活用の実践力、参
画力育成を図っている。
(1)導入済の電子黒板とデ
ジタル教科書を積極的に
活用している。今後もI
CT導入を推進する。(3)
情報の漏洩等にリスクを

Q 国は、地方自治体
に電子自治体の普及
拡大を図っている。市の
業務効率化推進の課題を

電子自治体の推進加速を
入予定。

A マチオモイ(1)ペー
レス、議事録発行
期間短縮に取り組む。(2)
児童手当の現況届を予定
来年4月から電子化を導
入予定。

Q ひとり暮らしで生
活にゆとりのない高
齢者に死後の葬儀、納骨
などの不安解消のため、
葬儀生前契約事業をして
はどうか。

A 健康福祉部 身寄り
のない方の葬儀は市
で実施しており、葬儀生
前契約事業の予定はない。

A 健康福祉部 年一回
交通ルールの理解と
進を図るため、子どもと
高齢者に購入費の助成を。

Q (1)家庭で残った食品
を学校や職場に持ち
寄り、それを福祉施設や
子ども食堂に譲渡するフ

Q 自転車ヘルメットに助成
自転車利用時での
事故や転倒から頭を

A 健康福祉部 年一回
守るヘルメットの普及促
進を図るため、子どもと
高齢者に購入費の助成を。

Q (1)家庭で残った食品
を学校や職場に持ち
寄り、それを福祉施設や
子ども食堂に譲渡するフ

公明党
島野 均

A 健康福祉部(1)フード
ドライブの取り組み
は広がり始めている。安
全性の確保、需要と供給
の課題もあり、広域的な
取り組みで検討する。(2)
申請中が1団体ある。

ードドライブを開催して
は。(2)市の子ども食堂の
現状は。

学校のICT環境整備を加速せよ



さくら会
森本 隆

問う。(1)ペーパー第一主
義の改善と議事録発行期
間の短縮を実施せよ。(2)
事務手続きのオンライン
利用を拡大せよ。



思いでの丘霊園の合葬墓地

一般質問

A副市長・建設部他①
「計画」は市が評価するものでない。②当該

答弁拒否は、正当な理由がない。質問は保留するが撤回しない。

A 総務部①現行機能の利用促進を軸とする事業展開へ変えた。②主避難所は3カ所、指定

Q 埼玉県議会議員
平成9年作成の「全体防災計画」がある。バス工事の土砂の仮置き地の一つだった。(3)バイ①どう評価するか。(2)消を許可した。
防署移転地に決めた理由は正当か。(3)土砂搬入の経緯は。
係争中の案件との関連があるので答弁は控える。

係争中の案件で答弁を控える

城山台土地の利用計画は



「恭仁っ子大作戦」は瓶原への移住を呼びかけている（自費作成）

Q 計画が策定された。

3月に空き家等対策を取り組みと成果を聞く。

①空き家予防策として、高齢者にフォーラムを開催し啓発しては。②特定空家の対策は、一緒に考えたい。(2)

A マヂオモイ①市民と立入り調査をする。

Q 移住定住を促進するためには、①市のホームページの更新は。②移住コンシェルジュが必要では。③交流センターの整備は。④補助金や支援金の創設は。

Q 小学校小規模校は
どこか。

A 教育長 ①地域で議論してほしい。学校現場と協議しながら、行政的な検討する。②モデル的に導入の検討を進めたい。

空き家利活用の受け皿づくりは 府の制度を活用し進める



民主未来クラブ

Q ① 地域住民が守るう
とする学校をなくす
ことはできないでは。
② コミュニティスクール

A black and white photograph capturing a scene of heavy construction or land clearing. A bulldozer is positioned on a large, roughly graded mound of earth or debris at the base of a steep hillside. The hillside itself is covered in dense, tall grasses and some scattered debris. To the right, a steep slope of earth and vegetation descends towards the foreground. In the background, a town or city is visible, with numerous buildings, power lines, and hills under a clear sky.

相楽中部消防本部移転地に決まった城山台9丁目

高齢者肺炎球菌ワクチンに助成を 国の制度を周知徹底する



山城路線は新祝園駅まで延伸を

この制度を周知徹底する

Q 高齢者肺炎球菌ワクチンは、26年度から国の制度で65歳以上で5歳刻みに行われていたが、来年度で終了し、65歳のみとなる。①接種率が、②市独自の助成の考えは。③制度が変わることの周知方法は。

A 健康福祉部 ①26年54・2%、27年43・4%、28年42・7%。②国の制度を利用できるよう周知徹底する。③個別通知、ホームページ、広報で周知する。

避難所訓練の充実を

Q 災害時の対応として①避難情報を出すタイミングは。②避難所の体制は。運営はHUG（避難所運営ゲーム）を利用しているか。③一人暮らしの高齢者の避難は。

A 総務部 ①明るい時間帯に安全に避難できるよう早めに避難準備・

Q 通学時の重すぎる荷物について、声はあがつてないか。

A 教育部 学校と協議、検討する。



公明党
柴田はすみ

高齢者等避難開始を発令する。②職員2名体制の交代で対応。自主防災会の連絡会で活用。③民生委員から気になる方へ声掛けをしてもらう。

ニーズの把握にアンケートを実施 高齢者が活動したくなる市へ



さくら会
高岡伸行

Q 高齢者にとって便利で外出したくなるまちづくりのため、民間企業と連携をし、コミュニティバス路線を大きく見直す時期に差しかかっているのでは。

Q 山城地域では、近鉄新祝園駅を利用するされる方が多いと考える。新祝園駅まで延伸して欲しいというニーズは、ど

Q マチオモイ 相当数の利用があることは理解している。

Q 今後、高齢者の免許証の自主返納を考える。高齢者にアンケートを行い、ニーズの高い路線を検討すべき。

A 市長・副市長 協議会で十分議論ができるようにしていく。利用者の増加を目指す。

A 市長 企業との連携は大切。地域公共交通連携協議会で可能なと

Q 山城地域では、近鉄新祝園駅を利用するされる方が多いと考える。新祝園駅まで延伸して欲しいというニーズは、ど

Q マチオモイ 地域公共交通網形成計画の見直しの中でアンケートを実施し、ニーズの把握を努める。



重すぎる荷物の改善を

一般質問

Q 南陽高校附属中学校は、市内小学校13校の内、6校は入学者がない。特に加茂地域、山城地域は誰も入学していない。合併により加茂、山城に教育委員会が無くなつたのが原因では。

A 教育部 附属中学校より依頼のあつた学校説明会の案内は配布した。入試は、本人や家庭の意向。各家庭の教育方針等に基づき受験された。

A 健康福祉部 保育園区域は市内全域であり、

A 教育長 利用者にはどのように対応するのか。

京都府立南陽高等学校
南陽高等学校附属中学校

公立の中高一貫校にチャレンジを

南陽高附属中の進学指導は適切か 本人や家庭の意向等に基づき受験



九社前輩朗
会派に属さない

保育園民営化の見直しを

保育士確保等、公民連携を受け入れ体制を万全に整える。

移動図書館廃止は問題だ

廃止で巡回地区の図書貸し出しができなくなる。理解できる説明を。

口増加し、待機児童も増えることが予想されるが、どのように対応するのか。

バスの老朽化、旧木津町域のみの不均衡な運行等の理由により廃止。



行政答弁「10月からご不便をおかけします」

支所の見直し 市民サービス後退

各種申請書の取り次ぎを行う

Q 支所事務の見直しにより、高齢者に関する業務の対応と、本庁への移動手段の確保は。

A 政策監 各種申請書の取り次ぎに配慮する。移動手段は考えていません。両支所の宿直業務が廃止。それに代わ

A 総務部 本庁舎周辺の除草業務。高齢者の雇用拡大のため、委託業務を全市的に広めていく考え方である。

Q 社会教育施設のインターネット予約の進捗は。

A 教育部 ①水路のり面工事について、奈良県、奈良市と協議したのか。

②工事費の総額は。予算項目は。

A 建設部 ①協議はしていない。②崩土除去及び修繕工事費は388万8千円。河川維持工事費から支出。③法定外水路の水路確保と越水防止のための工事。④4月に崩土除去、6月～9月に水路改修工事。



民主未来クラブ

河口 靖子

④工事の目的は。
③工事期間は。



いじめ・不登校に細やかな対応を

専門家も積極的に活用していく



飯盛斎場

Q 不登校の傾向は。

カウンセラーの紹介や区

域外就学も手段として教

えてあげてはどうか。

③教員の負担軽減に夕方の

電話対応を改善しては。

A 教育部 ①積極的に認

知した件数で、多い

とも少ないとも言えない。

①いじめ認知件数や
不登校の傾向は。②カウンセラーの紹介や区
域外就学も手段として教
えてあげてはどうか。③教員の負担軽減に夕方の

電話対応を改善しては。
②いじめが原因で不登校
の場合は区域外就学也可。
③保護者との信頼関係を

妨げないようにして、校
長会と検討したい。

子育て支援の地域作りを

①幼稚園の希望者が

②加配が必要な子どもを
受け入れるため、安易な
保育園統廃合は止めよ。
A 教育部・健康福祉部
①25年をピークに微

減。今後の推移を見守る。
②私立保育園でも保育士
の確保で、受け入れ可能
な人数は増える。

②手立てを十分考えたのか。
小さな子にも本と触れさせたいとの願いを大切に
すべき。
A 教育長 巡回バス廃
止で削減できる経費
は貴重な財源だ。



日本共産党
西山幸千子

移動図書館の存続を

Q やめることだけを

先に決めてスタート

している。図書館に行け

ない人たちのために残す

か。



交通弱者も楽しみにしている移動図書館



さくら会
山本 和延

A 市民部 国保の葬祭費5万円の算定根拠は。

Q 葬祭費は、火葬場

使用料を考慮して見直しが必要では。

A 市民部 22年に市国民健康保険条例で葬祭費5万円と定めた。

18年の健康保険法の改正により、

2022年に市国民健康保険条例で葬祭費5万円と定め

た。

Q 葬祭費は、火葬場

使用料を考慮して見直しが必要では。

A 市民部 18年の健康保険法の改正により、

2022年に市国民健康保険条例で葬祭費5万円と定め

た。

A 市民部 2人、28年度597

Q 死亡者数の推移と

施設整備は厳しい財政状況であり、考えていない。

A 市民部 施設整備は厳しい財政状況であり、考えていない。

死亡者数の推移と

施設整備は厳しい財政状況であり、考えていない。

死亡者数の推移と

施設整備は厳しい財政状況であり、考えていない。

A 市民部 施設整備は

施設整備は厳しい財政状況であり、考えていない。

死亡者数の推移と

施設整備は厳しい財政状況であり、考えていない。

A 市民部 施設整備は

施設整備は厳しい財政状況であり、考えていない。

一般質問

A 市長・市民部他①環境監視委員会に大規

施を。④大野バイパスの進捗は。

Q 生活困窮者（生活保護世帯や母子世帯）生活弱者にごみ袋減免を

模改修等を説明する。②年限を切る管理は考えていない。③府道天理加茂木津線（含浜町）道路拡幅の実施を。④大野バイパスの進捗は。

A 市民部 全市民にごみ袋有料化を進めており生活困窮者の減免を考えていません。

年限を区切る管理は考えていない



木津川の会
森本 茂

市民からの声

Q ①中央図書館前をバリアフリーに改善を。

・低年金世帯・障がい者

年限を切る管理は考へて

区と協議せよ。②本市で

何年間稼働させるのか。

いる。④予算が付き国交

省と府で協議している。

である。

A 市長・教育長他①歩道を利用願う。②舗装を進める。③予定して

いない。④検討を進める。

何年間本市に焼却場を置くのか



ブロック塀横のグリーンラインのある通学路を行く

Q 災害対策について。大阪府北部地震を機に、ブロック塀の安全性が社会問題化している。市民の安全、安心なまちづくりの取り組みを支援するために、ブロック塀等の安全対策に係る支援制度の創設を。

Q 木造の耐震リフォームを進めるためにも昭和56年6月1日以降に建築された木造住宅にも適応できないか。

A 総務部 安全基準を満たしていない危険なブロック塀の除去に係る費用の支援制度の創設に向け検討している。

A 建設部 新耐震基準を満たしている木造住宅への制度の拡大は考えていない。

A 建設部 国土交通省が予算の範囲内で計画的に実施している。伐採要望については、近隣自治体で構成する木

災害を未然に防ぐ支援策を検討



日本共産党

森岡

譲



ふれあい健康グラウンドトイレを常設で洋式に



怖い大里公園トイレを修繕し洋式に

さらなる議会改革に向けて

議会運営委員会

7月18日・19日に静岡県藤枝市と掛川市で「議会改革と議会の活性化」の見直しを委員会で行つた。また、12月に議員定数を24人から21人へと3人削減。

(藤枝市議会)

定例会ごとに事前に担当部長より、議案内容の理解を深めることを目的とした「議案説明会」を開催。

予算・決算特別委員会は議員の半分の11人で審議。半数としている理由は、議員全員で審議することは、本会議が形骸化することになる。

市民からの請願を受け、議論をし、議員定数を27人から22人へと5人削減。



議会改革と活性化のために研修(藤枝市)

29年2月より手話通訳入し、ママさん傍聴のための託児サービスも導入。議会報告会は市民との情報共有と意見交換の場と位置付け、市民の意見をもとに行政側と政策討論会を行い、結果を政策提言とし市長に提出。

7月26日に兵庫県西脇市へ「議会だより」の改善を図るために、研修を行つた。

西脇市では、ひとりでも多くの人に議会だよりも読んでもらえるよう試行錯誤を重ね、さまざまな工夫をされていた。

表紙の写真を白地枠のレイアウトから、全面カラー写真に切り替えることによって迫力を出し、また若い人にも読みやすいよう、従来の縦書きから横書きに変更。そして目に入りやすい見出しや、多色刷り等レイアウトを工夫。

また、ページ数を減らし、文字数も少なく、図や写真を積極的に取り入れ「見やすさ」「分かり

議会の透明化を目指して

広報編集委員会

研修の成果として、本市の議会だよりも、年4回の発行ごとに色を変え、西脇市議会は、中学生による「子ども議会」や、ひとりでも多くの方に読ませるため、研修を行つた。高校生を対象とした議会報告会を開催。常に市民目線を忘れず、工夫を重ね、より良いものを作ろうという意思が強く感じられた。



みんなに読んでもらえる「議会だより」を目指す

11月10日(土)

市民と議会のつどい(議会報告会)を開催します

市内3会場にて、「議会だより(46号)」をもとに、9月定例会の内容をご報告し、市民の皆さんと意見交換を行います。

事前のお申込みは不要です。お気軽にお越しください。

報告会の内容

1部 定例会の審議内容

2部 議員定数について

時 間	会 場	担 当
13:30~15:30	加茂文化センター (研修室1・2)	片岡・河口・倉・高味 谷口・西山・森岡
	山城支所別館 (ホール)	伊藤・尾崎・柴田・炭本 谷川・長岡・西岡・宮嶋
19:00~21:00	東部交流会館 (多目的ホール)	九社前・酒井・島野・高岡 森本茂・森本隆・山本

※問い合わせは、議会事務局まで TEL 0774-75-1240

平成30年 第4回(12月)定例会予定

月	日	曜 日	会 議 ・ 委 員 会	場 所
11月	22日	木	議会運営委員会(議会招集告示)	第1委員会室(5階)
	30日	金	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
12月	3日	月	本会議 (予備日)	議場(6階)
	4日	火	総務文教常任委員会	第1委員会室(5階)
	5日	水	厚生常任委員会	第1委員会室(5階)
	6日	木	産業建設常任委員会	第1委員会室(5階)
	10日	月	補正予算特別委員会	第1委員会室(5階)
	11日	火	議員定数及び議員報酬検討特別委員会	第1委員会室(5階)
	13日	木	本会議 一般質問	議場(6階)
	14日	金	本会議 一般質問	議場(6階)
	17日	月	本会議 一般質問	議場(6階)
	18日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	20日	木	議会運営委員会	第1委員会室(5階)
	21日	金	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
	25日	火	本会議 (予備日)	議場(6階)

- ・日程については、変更となる場合があります。
- ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- ・本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- ・次回議会日程の他、今までの本会議の模様や会議録について、市のホームページ(市議会)から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

2018
11.1

■発行／木津川市議会（市役所5階） ■広報編集委員会
■発行責任者／議会議長
〒619-0115 京都府木津川市木津南垣外110番地9

■印刷／タケダ印刷株式会社
〒610-0115 京都府城陽市音羽堂甲番63
TEL 0774-53-3643 FAX 0774-55-2754 E-mail info@takeda-print.com

地球環境に配慮した用紙と
インクを使用しております。

わたしの 意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしています。（220字以内）



黒川 嘉代子さん
(南加茂台)

危機対応について

今夏は、日本列島に大自
然の猛威が多発、そのテレ
ビニュースに驚愕しました。
いつ襲ってくるか分からな
い災害に対して、自ら危機
管理体制の学習が必要と思

います。その上で大切な
は、自身の判断です。
広報「きづがわ」の防災
記事を読み、私自身、家族
を守れるよう、また地域や
社会福祉協議会で催される
防災関係の学習会に参加し、
災害時の地域協力など学び、
近隣のつながりを深め、老
若男女より添つて、自ら学
習する志を持ち、危機対応
能力を養つていければと思
います。

被災を軽減する「防災・
減災」が重要になってきました。
議会も行政と連携し、
取り組んでまいります。
7月に兵庫県西脇市に広
報の研修に行き、斬新な構
図や前向きな手法は見習っ
ていきたいです。
今後も研修成果を活かし、

廣報編集委員会
委員長 河口 靖子
副委員長 柴田 はすみ
〃〃〃〃〃

酒西伊藤森森本雄一
井岡藤紀味枝茂隆
弘政一治

編集後記

市民の皆さんに読んで頂き、
心に残る「議会だより」を
目指してまいります。

伊藤 紀味枝

こそだてで 共に育つ



福井 さなえさん
(木津)

け、自主保育サークルも始
まり、心許せる仲間に出会
い安定してきた頃、「子ども
もは広い空の下で育てたい」
と思い、ここ木津川市へ引
っ越してきました。

広い空と里山の風景があ
る木津川市。ここで子育
てのしやすさは人のつなが
りも多く別格です。
私だけでなく、多くのマ
マもそんな実感がもてる事
を願いながら、木津川市で
の子育てを満喫中です。

ゴミを観ていると



山内 信博さん
(山城町平尾)

豊かにしましたが、道路の
路肩の多くのゴミや、リサ
イクルできる状態のペット
ボトルがそのままゴミ箱に
捨てられているのを見ると、
残念で仕方ありません。

必要な物がいつでも手に
入る現在、食品ロスも年間
646万トンもあることを
考えると、私はゴミに学び、
その処理の効率化を進めた
ことがあります。

技術の進歩は、暮らしを

お知らせ

12月定例会は11月30日(金)からはじまります。
詳しい日程は、25ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務
局までご一報ください。

議会事務局直通

TEL 0774-75-1240
FAX 0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp